

## スクールモニター活動第3弾！川崎みなと祭りに招待



また、モニターは、平井本部長と言葉を交わす場面もあり、広報用動画の撮影への協力や、イベント参加後にご自身のSNSにて当日の様子を発信するなど、モニターとしての役割もしっかりと果たしていく意気込みも語っていた。

神奈川地方協力本部（本部長 平井克英1等海佐）は、10月8日（日）、川崎マリエン周辺等（神奈川県川崎市）で行われた「第50回川崎みなと祭り」にスクールモニター2名を招待した。モニターは、海上自衛隊の訓練支援艦「くろべ」の公開と艦内食堂での体験喫食に参加、陸上自衛隊や航空自衛隊の装備品（水タンク車、炊事車、警務車など）及び広報ブースの見学、陸上自衛隊高等工科大学和太鼓部の演奏鑑賞などの内容を体験した。

モニターは「くろべ」では、一般公開では見ることのできない艦橋や医務室なども見学し、乗員に「1年間ではどのくらいの期間航海をするのか」、「訓練の際、海に落ちた装備品はどのように回収するのか」などと積極的に質問をしたり、体験喫食では海自カレーをおかわりするなど、艦内を十分に楽しんだ様子であった。下船後は、「くろべ」のブースにて結索体験をしたり、神奈川地本広報ブースでは南極の氷に触れ、「授業で南極の氷について学んだが、本当に氷があるんですね」と興奮したり、和太鼓部の演奏には「心にも体にも響き渡る力強い演奏でした」と感動されるなど、視・聴・嗅・味・触覚の五感を使って祭りを満喫した。

